

教科	保健体育	科目	保健			単位数	1
学科	普通科 工業科	履修 学年	2	コース		必修・選択	必修
教科書	「現代高等保健体育 改訂版」(大修館書店)						
副教材等	「図説現代高等保健 改訂版」(大修館書店)						

学習目標	<p>(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かな活力ある生活を営む態度を養う。</p>						
指導の重点	健康の意味や意義について理解を深め、現代社会が抱えている健康問題を把握する。ヘルスプロモーションの重要性を深めながら、保持増進するための対策や疾病予防のための基礎的な知識を習得し、実践できる態度と能力を育てる。						
学習 計 画	学期 (時数)	学習項目	学習内容(学習活動)				評価方法
	1学期 (10)	思春期と健康 性意識と性行動の選択 結婚生活と健康 妊娠・出産と健康 家族計画と人工妊娠中絶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期の体と健康</li> <li>・思春期の心と健康</li> <li>・性意識の変化と異性の尊重</li> <li>・性に関する情報と性行動</li> <li>・心身の発達と結婚生活</li> <li>・結婚生活と家族の健康</li> <li>・受精・妊娠・出産</li> <li>・妊娠・出産期の健康のために</li> <li>・家族計画の意義と避妊法</li> <li>・人工妊娠中絶</li> </ul>				保健ノートや レポート提出 定期テスト 授業の取り組 み
	2学期 (12)	加齢と健康 高齢者のための社会的取り組み 保険制度とその活用 医療制度とその活用 医薬品と健康 さまざまな保健活動や対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢にともなう心身の変化</li> <li>・中高年を健やかに過ごすために</li> <li>・高齢者の健康課題とその支援</li> <li>・すべての人が健康で安全に暮らすための取り組み</li> <li>・保健行政の役割と健康づくり</li> <li>・保健サービスの活用</li> <li>・医療制度と医療保険のしくみ</li> <li>・医療機関と医療サービスの活用</li> <li>・医薬品の種類と使い方</li> <li>・医薬品の安全性のための対策</li> <li>・健康づくりのための活動</li> <li>・民間機関の保健活動</li> <li>・国際機関の保健活動</li> </ul>				保健ノートや レポート提出 定期テスト 授業の取り組 み
	3学期 (10)	大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染の原因と健康影響</li> <li>・大気汚染にかかわる地球規模の問題</li> <li>・水質汚濁とその健康影響</li> <li>・土壌汚染とその健康影響</li> <li>・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染のかかわり</li> </ul>				保健ノートや レポート提出 定期テスト 授業の取り組 み

	<p>健康被害の防止と環境対策</p> <p>環境衛生活動のしくみと働き 食品衛生活動のしくみと働き 食品と環境の保健と私たち</p> <p>働くことと健康</p> <p>労働災害と健康</p> <p>健康的な職業生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境汚染の防止とその対策</li> <li>・産業廃棄物の処理と健康</li> <li>・ごみの処理</li> <li>・上下水道の整備とし尿の処理</li> <li>・食品の安全性</li> <li>・行政や製造・加工者による衛生管理</li> <li>・食品の安全と私たちの役割</li> <li>・環境の保健と私たちの役割</li> <li>・働くことと健康のかかわり</li> <li>・働き方と健康問題の変化</li> <li>・労働災害とその防止</li> <li>・安全管理と健康管理のしくみ</li> <li>・職場における取り組み</li> <li>・日常生活におけるとりくみ</li> </ul>	
計32時間（55分授業）			
評価規準と 評価方法	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	生涯を通じる健康、健康を支える環境作りについて、個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、 <b>知識を身に付けている。</b>	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に <b>表現している。</b>	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある <b>生活に結びつけようとしている。</b>
	<p>[評価方法]</p> <p>具体的な評価方法として①出席状況、②授業への取り組み、③保健ノートやレポート提出、④定期考査とします。①から④の項目をそれぞれ数値化し、評価を行います。また、1年間の評定については、1学期・2学期・学年末の年間を通して、上記内容を総合的に判断して決定します。</p>		
学習の ポイント	<p>「健康」とは、生涯を通じた人間の生活にとっての土台となります。現代は、「健康」について個人の努力だけでなく、社会の一員として、しかも、地球規模での問題を考える必要があります。保健の授業を通して、現在だけでなく、将来の生活のために役立つ学習ができることを期待します。</p>		